

令和3年度マダイ中間育成・放流結果

今年の伊豆地域のマダイ中間育成は、田子で6月10日、網代で6月11日に、種苗を海上生簀に搬入する沖出しから開始されました。両地区の沖出し尾数は、網代が40.5万尾、田子22.5万尾であり、計画どおりの尾数が沼津の温水利用研究センターから供給されました。

表1に両地区の中間育成の概要を示しました。今年は、田子で沖出し直後からへい死が続き、ピブリオ病と滑走細菌症の混合感染が発生しましたが、飼育担当者の迅速な対応により、病気は数日で沈静化しました。その後は、病気の発生などのトラブルはなく成育しました。また、網代で7月上旬の大雨による流木で生簀の網に小さな穴が開くといったトラブルもありましたが、病気や赤潮の発生等はなく順調に成育しました。

沖出し後の種苗は、およそ50日間の飼育により、放流目標サイズの尾又長60mmを超えました。そこで、網代で7月28日、田子で7月29日に放流尾数を確認する計数作業が行われました（写真1）。今年の歩留まりは、網代が74.8%、田子が68.4%でした。中間育成の歩留まり目標は66%となっています。両地区では、沖出し当日からの給餌、早朝の給餌、給餌量増加などの3年前から取り組んでいる飼育方法の改善によって、平成30年から4年連続で歩留まり目標を上回ることができました。



写真1 計数作業の様子（網代）

伊豆地域への放流尾数は、網代から30.3万尾、田子から15.4万尾となり、各地区の放流尾数は表1の通りになりました。県内のいくつかの地先では、港内が放流

場所となっています。これは港内が、水深の浅く、波浪の穏やかな海域であり、放流直後の減耗を低く抑えることができる放流適地と考えられるからです。港内で釣りをされる際は、小型のマダイが釣れたら海へ再放流をしていただくようお願いいたします。

表1 令和3年度マダイ中間育成・放流結果

		網代	田子			
沖出し	月日	6/11	6/10			
	尾数(千尾)	405	225			
	平均体重(g)	0.22	0.23			
	平均全長(mm)	24.9	25.1			
	生簀数(面)	16	8			
計測	月日	7/28	7/29			
	尾数(千尾)	303	154			
	生残率(%)	74.8	68.4			
	平均体重(g)	7.7	6.6			
	平均尾叉長(mm)	80.2	67.5			
放流	場所	月日	尾数	場所	月日	尾数
	初島	7/29	3,700	南伊豆	7/29	19,200
	大熱海	7/29	15,000	松崎	7/29	36,800
	網代	7/30	84,900	仁科	7/29	17,200
	宇佐美	8/2	23,200	田子	7/29	18,800
	伊東	8/2	75,700	安良里	7/29	42,400
	川奈・富戸	7/30	18,000	土肥	7/29	19,700
	稲取・河津	7/30	36,100			
	下田	8/3	45,900			

(橋詰悠斗)